



に開業したのが「芦屋らーめん庵」。大阪府守口市で喫茶店を経営していた久保多美子さんが、周囲の反対を押し切って89(平成元)年11月に店を出した。最初の1年は麺やスープの味で苦労をした。讃岐うどんの製

ケーキやパンの街としてのイメージが強かった芦屋で、最初に店を出したのは、麺やスープの味で苦労をした。讃岐うどんの製

庵」。大阪府守口市で喫茶店を経営していた久保多美子さんが、周囲の反対を押し切って89(平成元)年11月に店を出した。最初の1年は麺やスープの味で苦労をした。讃岐うどんの製

国道2号を西宮・夙川から西に芦屋へ走ると、多くのラーメン店が営業している。特にJR芦屋駅付近は、国道をはさんで約200mの間に5軒がしのぎを削る「ラーメン激戦区」だ。

この行列を見て、95(平成7)年に、国道をはさんで北向かい

芦屋ラーメン街道

に開業したのが「楓林」が開店。これで「ラーメン戦争」に火がついた。その後、国道沿いに「日の丸軒らーめん」「もっこす」「らーめん山頭火」が相次いで開店し、芦屋ラーメン街道ができた。03年以降、芦屋駅付近での新規開店はない。一方、過熱気味の出店ラッシュの中、店を閉めたところも出ている。

今回、3軒食べ歩いたがスープは、白濁豚骨、白菜スープ、しょゆ味と違った味が楽しかった。自分好みのラーメンを探して食べ歩きするのも良い。



写真・文 山田哲也

□□□16

はんしん@アソビ

久保さんが芦屋でラーメン店を開いたのは「ひらあき」から。今も週末の昼時には行列ができる

5軒がしのぎ削る激戦区

